森と海の自然科　活動報告　「活動テーマ：里／川」　2020 年１２月１日

**「吉野・宮滝万葉の道ハイキング　観察河川：吉野川　象の小川」**

日　時　　2020 年 11 月２６日（木）集合９時 50 分　近鉄大和上市駅改札口

参加者　　１９名

・９時 55 分発コミュニテイバス幸運にも全員乗車出来た。バス内の窓を数か所開けて換気。

・宮滝バス停で下車。歩いて近くの公共施設へ到着。各自トイレ休憩と登山準備・軽くストレッチしてスタート。左手 100m弱先に橋あり（現在は補修工事中も通行可能）下は吉野川。

橋を渡り右方向へ。見晴し場所へ。今日は快晴、吉野川清流は、荒瀬に白波・音を発して等々と流れ下っていた。

今回のコース 宮滝➡(桜木神社)➡象の小川 ➡（高滝）➡稚児松地蔵➡（如意輪寺）⇒近鉄吉野駅

境内と続く 子ぬれ橋

道路から川を渡って桜木神社へ

御神木の大杉

病に伏した天智天皇に、即位を進められた大海人王子(天武天皇)はこれを固辞。出家して吉野入る。ここ吉野から古代最大の大乱は始まる。大海人王子、吉野入りにちなむ由来のある、桜木神社の社頭に木碑は建てられることになった。「日本書記」はこの風雲急を告げる大海王子の吉野入りを、かくのごとくに評している。時に天智天皇１０年(６７１)１０月１９日のことである。　奈良大学文学部教授　上野　誠

（飛鳥・奈良時代）

* （第 40 代）天武天皇
　１３年間（673 年～686 年）
* （第 41 代）持統天皇
　７年間（690 年～697 年）
* （第 45 代）聖武天皇
　25 年間（724 年～749 年）

※江戸時代最後の天皇
（121 代）孝明天皇
※明治天皇（第 122 代）
※今上天皇（第 124 代）昭和天皇

【**高滝**（たかたき）喜佐谷の集落を抜ければ、山中へと続く。途中から滝の道へ

滝道から分岐点迄戻り、勾配の続く登山道を進みます。分岐点は　稚児松地蔵

稚児松地蔵から石敷きの急坂を下ると、杉林から落葉樹林に変わります

## 如意輪寺

多宝堂

宝物殿

浄土宗の寺院　屋号は塔尾山椿花院
創建は延期年間（901～923）との伝え

楠木正行が出陣の際、読んだ辞世の歌や、矢じりで刻んだ扉や桜材の蔵王権現立像（重要文化財）

階段が終わると、なだらかな道（ささやきの小道）を歩きます

吉野･宮滝万葉の道ハイキングは、吉野川の荒々しい岩肌と透き通った流れが美しい。宮滝に至る緑滴る象の小川から、高滝は高さ 15mの滝、岩肌を分岐して流れ落ちる雄大な姿は必見！吉野地域の造園技術により育まれた天然の森は訪れる人々を、圧倒する景観で迎えてくれてる。寺院は歴史と自然体で受入れる暖かさで、日々の疲れが落とされ身も心も癒される。帰路は晴天の中、木々は紅葉に映えている。皆、ゆったりした歩きで下り道を、秋を楽しみながら駅までの道を皆と歩く。

この先は近鉄電車吉野駅です